

西川町立病院事業の実績（概要）

1. 令和 6 年度の実績（資料 2-2「プラン数値目標に対する実績」資料 2-3「R6 患者動向」参照）

①収支改善

収支改善に係る指標では、「経常収支比率」が 94.7%となり目標値の 89.7%より割合が高くなったため、財政の弾力性が低下しました。原因は、入院患者の増加により収入が増額しましたが、それ以上に物価の高騰などにより支出が増額したためです。

しかしながら、「医業収支比率」（61.2%）、「修正医業比率」（55.3%）は目標値を上回り、令和 6 年度の病院全体の収入における医業収入が目標値より高い割合でした。

②収入確保

収入確保に係る指標では、「入院患者数/日」が前年度比+5.4 人の 19.1 人に増加し、目標値を 4.1 人上回っています。

「病床利用率」は、「入院患者数/日」の増加に伴い、前年度比+12.7 ポイントの 44.5%に増加し、目標値を上回っています。なお、令和 7 年 4 月 1 日から病床数を 43 床から 15 床を削減し 28 床としておりますので、令和 7 年度の病床利用率はさらに上昇が見込まれます。

「外来患者数/日」は、前年度比+0.3 人の 86.1 人と若干増加しましたが、目標値は下回っています。しかしながら、令和 6 年度は年末年始に、急患を積極的に受け入れたことにより、9 日間で 153 人の診療を行うなど、休日・夜間の急患対応を積極的に行ってきました。令和 7 年度も引き続き、休日・夜間の急患対応を積極的に行い目標達成を目指します。また、4 月から整形外科の診療日を月曜日毎週に加えて金曜日隔週を追加したことにより、令和 7 年 6 月現在では、前年度の外来患者数を約 10%上回っている状況です。

③経費削減

経費削減に係る指標では、「材料費の対修正医業収益比率」が前年度比+2.8 ポイントで 17.5%に増加し目標値を上回っており、引き続き材料費の経費削減に努める必要があります。なお、原因は物価の上昇と薬品費の増額によるものです。特に、薬品費は、令和 5 年度は国から支給されていた新型コロナウイルス等に関する薬品を令和 6 年度からは経費で購入しているため、ワクチン等の購入費用として純増しています。

指標	基準値 (令和 4 年度)	令和 6 年度		令和 9 年度
		目標値	実績値	目標値
入院患者数/日	13.7 人	15.0 人	19.1 人	17.5 人
外来患者数/日	89.1 人	94.2 人	86.1 人	96.3 人
病床利用率 ※ 1	31.9%	35.0%	44.5%	70.0%

※ 1：令和 7 年 4 月 1 日付けで病床数を 43 床から 28 床に削減。令和 6 年度の数値には影響なし

2. 令和 6 年度の会計状況（資料 1「R6 病院事業会計実績見込み」参照）

①収益的支出

収益については、医業収益のうち入院収益が対前年度比 40.2%の増となり、医業外収益が一般会計繰入金金の増額により対前年度比 16.8%の増、収入合計が 7 億 3,687 万 1 千円となりました。

令和 6 年度計画には 0.4%届きませんでしたが、対前年度比では 1 億 288 万 1 千円、16.2%の増となりました。

費用については、医業費用のうち材料費が対前年度比 40.6%の増となりました。コロナウイルスや帯状疱疹のワクチン等の薬品の購入の増によるものです。その他医業費用の医療機器除却費が減となったこともあり、医業費用の対前年度比は 5%の増に抑えることができ、医業外費用を含めた支出合計が 7 億 7,832 万 3 千円となりました。

令和 6 年度計画より 1.6%の増となり、対前年度比では 3,645 万 1 千円、4.9%の増となりました。

収益的収入から支出を差引き、当期純損失としては対前年比 6,643 万円、38.4%の減の 4,145 万 2 千円を見込むことができました。

②資本的収支

資本的収入については、医療機器購入に充てる企業債 440 万円の借入れを行い、県補助金と一般会計繰入金を合わせて 1,294 万 5 千円、前年対比 1,18 万 2 千円、10%の増となりました。

資本的支出については、医療機器等購入と LED 照明リース代合わせて 1,258 万 4 千円、施設整備として厨房フード工事費 305 万 8 千円、企業債償還金 1,159 万 7 千円を合わせて 2,723 万 9 千円となりました。

資本的収入が資本的支出に対し不足する額 1,429 万 4 千円は、当年度消費税及び地方消費税収支調整額 20 万 3 千円、過年度分損益勘定留保資金 1,409 万 1 千円で補填するものです。